



MANUFACTURING DX SUMMIT 2023

イベント企画趣意書

イベント企画趣意書



製造業DXとものづくりの未来

現在モノづくり産業では、非常に多くの力が埋もれたままになっています。本来の開発力や技術力を発揮しきれていない状況を打破し、各企業のポテンシャルを解放することが私たちの使命です。

この使命は、1社だけで成し遂げられるものではありません。

産業を変えようと奮闘している方々の取り組みを、広く知っていただく機会が必要だと考え、今年2月に「Manufacturing DX Summit 製造業DXへの挑戦」を開催。結果、予想を大きく上回る10,000名超の視聴者の方々にご参加いただきました。この熱量をさらに広げるべく、第2回目の開催を決めました。

「Manufacturing DX Summit 2023 製造業DXとものづくりの未来」として、準備を進めております。

製造業界トップランナーの方々、企業経営や研究機関、製造業の新たな可能性に取り組む方々にご登壇いただき、産業の未来を様々な角度から考える3日間にしたいと考えております。

ぜひ上記趣旨にご賛同のうえご参加・ご協賛を賜わりたく、ここに謹んでお願い申し上げます。

キャディ代表取締役CEO 加藤 勇志郎

Manufacturing DX Summit 2023

開催概要

名称	: Manufacturing DX Summit 2023 製造業DXとものづくりの未来
主催	: キャディ株式会社
日程	: 2023年1月25日（水）・26日（木）・27日（金）の3日間
形式	: オンライン配信
参加条件	: 無料・事前の申し込み制
ご登壇	: 会場でのご登壇（千代田区内想定）or Zoomでのご登壇
対象者	: 製造業従事者（特に経営層/調達部門/製造部門/経営企画部門）を中心に、各種メディア・広告・自社ハウスリストから集客予定
集客数	: 30,000名（予定）

Manufacturing DX Summit 2023

現時点の登壇者（一部）＊最新情報は公式サイトをご覧ください



東 哲朗氏

TIA運営最高会議 議長
東京エレクトロン株式会社元会長・社長



平井 一夫氏

ソニーグループ株式会社 シニアアドバイザー
一般社団法人プロジェクト希望 代表理事



入山 章栄氏

早稲田大学大学院 経営管理研究科
早稲田大学ビジネススクール 教授

Manufacturing DX Summit 2023

納品リード情報：取得項目想定

※会期終了後、2～3営業日以内での納品を予定（1/31～2/1）

★登録時に取得

- 姓/名
- 所属先・会社
- 従業員規模
- 都道府県
- 部署
- 役職
- メールアドレス
- 電話番号

★視聴記録

- DAY1/2/3それぞれの視聴時間累計
 - 詳細な視聴ログ
- ※数分単位で、各個人が視聴した/していない

★イベント全体アンケート(項目は仮)

- イベント満足度
- DX推進における個社課題等

★個社セッション中アンケート(検討中)

※セッション中ポップアップでの項目取得を想定

Manufacturing DX Summit 2023

配信環境

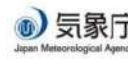


ライブ配信、アーカイブ配信についてはEventHubを活用想定

※BtoBイベント開催600件・累計参加者60万名超の実績あり

多様なイベントでの豊富な開催実績

- ✓ セミナー/ウェビナー
- ✓ カンファレンス
- ✓ 展示会
- ✓ 採用イベント
- ✓ 商談会
- ✓ 学会
- ✓ 国際会議
- ✓ 社内向けイベント



Manufacturing DX Summit 2023

ご講演に関する注意事項

- ❑ イベントのプログラムおよびスケジュールは都合により変更になる場合がございます。
- ❑ イベント情報は各種外部メディア、ソーシャル(Twitter/Facebook)等で告知させていただく場合がございます。
- ❑ プレス関係者のイベント参加・取材、メディア媒体に記事が掲載される場合がございます。
- ❑ ご登壇動画はイベント終了後、申込者限定で3か月間、オンデマンドにて配信させていただく予定です。
- ❑ 動画撮影中のご様子を写真撮影させていただく場合がございます。
- ❑ 撮影した写真はソーシャル(Twitter/Facebook/Instagram)やブログで使用させていただく場合がございます。
- ❑ 新型コロナウイルスの状況を受けて、本イベントが延期・中止になる可能性がありますので予めご了承ください。

第一回開催実績

※2022年2月16(水)～17(木)開催

Manufacturing DX Summit 2022

開催概要

- 名称 : Manufacturing DX Summit 2022 製造業DXへの挑戦
【URL】 <https://info.caddi.jp/summit/manufacturing-dx-2022>
- 主催 : キャディ株式会社
- 日程 : 2022年2月16日(水)、17日(木)の2日間
- 形式 : オンライン開催
- 参加条件 : 無料・事前の申し込み制
- ご登壇 : Zoomでのご登壇 or 都内配信会場からのライブ配信
- 対象者 : 製造業従事者（特に経営層/調達部門/製造部門/経営企画部門）を中心に、
各種メディア掲載・オンライン広告・自社ハウスリストから集客予定
- 集客数 : 5,000名（予定）

Manufacturing DX Summit 2022

視聴登録者数/平均満足度



視聴登録者数

10,000 名以上

※ Day1, Day2 およびアーカイブ視聴登録者数

平均満足度

4.2 点

※ 5段階評価中

Manufacturing DX Summit 2022

配信会場：東京ガーデンテラス 紀尾井カンファレンス



東京ガーデンテラス 紀尾井カンファレンス

〒102-0094

東京都千代田区紀尾井町1番4号

東京ガーデンテラス紀尾井町

紀尾井タワー4F

- ・永田町駅直結・赤坂見附駅より徒歩1分
- ・東京メトロ5路線利用可能
(有楽町線、半蔵門線、南北線、銀座線、丸ノ内線)

Manufacturing DX Summit 2022

協賛企業様

PLATINUM



Money Forward

GOLD



Manufacturing DX Summit 2022

セッション一覧 - DAY1

	株式会社日立製作所 執行役常務 産業・流通ビジネスユニットCEO 森田 和信様 「変化する社会とこれから日本の製造業で考えるべきこと」		富士通株式会社 COLMINA事業本部 戦略企画統括部 グループ長 野村 進直様 「ものづくりDXの実践と持続的な成長に向けた新たな取り組み」
	UiPath株式会社 Head of Product Marketing 原田 英典様 「実例から探る製造業DXにおけるRPA×AI活用」		Our Stars株式会社 代表取締役 堀江 貴文様 「日本の製造業に見る、宇宙イノベーションの可能性」
	栗田工業株式会社 執行役員 グループ生産本部副本部長兼CQO 植田 誠治様 「社内の形式知をDXする～ナレッジ管理プラットフォーム構築による水処理品質管理の高度化」		旭化成株式会社 デジタル共創本部 スマートファクトリー推進センター センター長 原田 典明様 株式会社シグマクシス 桐原 慎也様 株式会社日本経済新聞社 編集 上田 敬様 「製造業におけるデジタルトランスフォーメーションのリアル、成功の勘所」
	グーグル・クラウド・ジャパン合同会社 製造・インダストリアル事業本部 中部・西日本事業統括部長 高見 健太郎様・森永 大志様・浅沼 勉様 「製造業でGoogle Cloudってどう活用する？ ～AIとデータ活用によるDX推進～」		株式会社 PKSHA Technology 代表取締役 上野山 勝也様 PKSHA Capitalパートナー 兼 経営企画責任者 PKSHA Workplace 執行役員 杉原 雅人様 「言葉を理解するAIソフトウェアで製造業はどう進化するか」

Manufacturing DX Summit 2022

セッション一覧 - DAY2

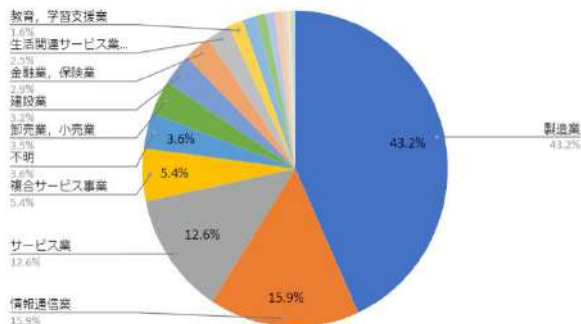
	コマツ 特別顧問 元代表取締役社長 野路 國夫様 「コマツのイノベーション戦略とDX」		株式会社Skydrive 代表取締役CEO 福澤 知浩様 「空の移動革命への挑戦～日本発 空飛ぶクルマと物流ドローンの開発～」
	株式会社セールスフォース・ジャパン 製造・ハイテク業界担当シニアマネージャ 鹿内 健太郎様 「国内外の先進事例に学ぶデジタルトランスフォーメーション成功の要諦」		ピクシーダストテクノロジーズ株式会社 代表取締役CEO 筑波大学デジタルネイチャー開発研究センター センター長 落合 陽一様 「持続可能なデジタル社会と、日本のモノづくりDX」
	株式会社マネーフォワード クラウド経費本部 EXセールス部 ゼネラルビジネスグループ リーダー 須川 拓海様 「環境変化の中で求められるDXに対しマネーフォワードクラウドで実現できることは ～電子取引対応のその先～」		株式会社MUJIN CEO 兼 共同創業者 滝野 一征様 「DXが"自動化を自動化"し始めた世界」
	パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社 現場プロセス本部シニアエグゼクティブアドバイザー 前平 克人様 「日本におけるサプライチェーンの方向性とパナソニックが取り組む「現場プロセスイノベーション」」		キャディ株式会社 代表取締役 加藤 勇志郎 「キャディが見据えるモノづくり産業の未来」

Manufacturing DX Summit 2022

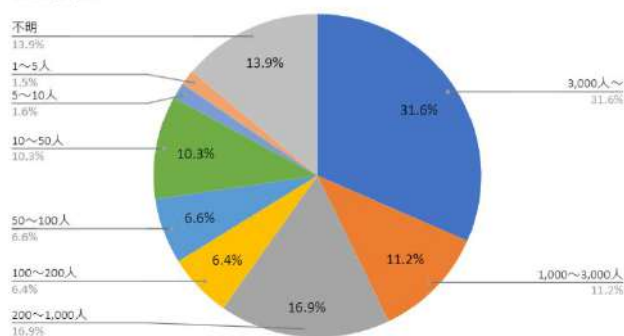
視聴者属性

業種は製造業が43.2%でもっとも多く、企業規模は従業員数1,000人以上の大企業が42.8%と多い傾向。
部署は経営・営業企画や営業、研究開発職が多く、役職では課長職以上が57.4%と意思決定者の割合が多い傾向に。

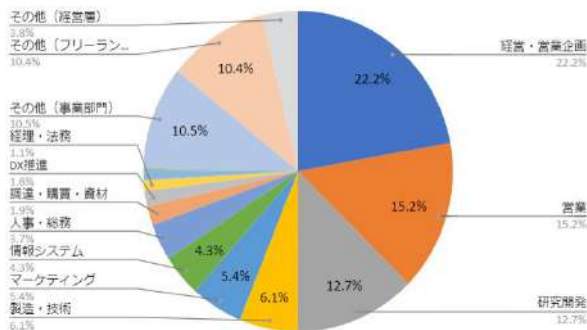
業種



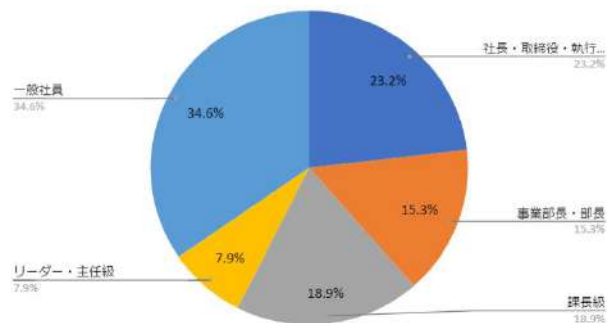
従業員数



部署



役職



Manufacturing DX Summit 2022

アンケート定性コメント抜粋

- ・多業種にわたるDXのサービス、取組について学ぶことができた。
- ・ビジネスの最先端の思考に触れる機会となった。
- ・製造業の動きを大まかに知れた。今後どうなっていくかも知れてよかった。
- ・紹介事例が素晴らしく、大変刺激を受けました。
- ・理路整然としていたのと、具体例が多かったから。
- ・製造業のDXについて多岐に渡って聴講することができ大変参考になった。
- ・普段関連のない分野の講演、自分にとって新しい知見も得ることができた。
- ・有料のものも含めてでここまで濃密なセミナーはほかにない。
- ・DXを推進するために、是非とも経営層に視聴してもらいたい内容ばかりでした。
- ・知りたい内容がコンパクトかつ具体的にまとまったプレゼンが多い。
- ・平日のイベントで全部は参加できなかったが、休憩時間に視聴できるものもあり良かった。

Manufacturing DX Summit 2022

アンケート定性コメント抜粋

- ・大規模な製造業とベンチャー、それぞれの観点でのお話が聴けたため、幅広い事例に対して良い知見が得られたため。質疑の時間がもう少し長いとありがたかったです。
- ・「DX」という未だつかみどころのないものに対して、各業界で第一線で活躍されている方々の講演は大変参考になりました。
- ・弊社は食品産業のサプライチェーンDXに取り組む会社のため領域が異なりますが、共通するマーケット課題とインサイトが多数あり大変深く勉強させていただきました。
- ・高次元な内容もあり、一部自分たちの仕事とイメージが結び付かないところもありましたが、全体的にととても参考になりました。
- ・暗黙知をどう蓄積するか、バリューチェーンでどう稼ぐかなど、共通の話題があったので登壇者同士のパネルディスカッションなどあったら聞いてみたいと思いました。
- ・近未来的な話もありましたが、分野は異なるものの同じ技術者としてワクワクしますし、また先人達に続け！と励みにもなります。

The background is a detailed technical drawing in blue lines on a dark blue background. It features various mechanical components, including a large circular part with a central hole, several rectangular blocks with internal features, and various dimension lines and annotations. The drawing is oriented horizontally, with the main components arranged from left to right. The text "参考情報: キャディについて" is overlaid in the center of the image.

参考情報: キャディについて



CADDi **NEXT** STAGE

会社概要

社名	キャディ株式会社 / CADDi,Inc.
代表取締役	加藤 勇志郎
資本金	1億円(資本準備金含み、99.3億円)
従業員数	516名(2022年5月時点)
東京本社	東京都台東区蔵前1-4-1
関東物流品質拠点	千葉県船橋市浜町2-5-7 MFLP船橋I
関西支社	大阪府大阪市港区福崎3-148
他物流品質拠点	福岡支店、山梨支店、岐阜支店
グローバル拠点	CADDi VIETNAM COMPANY Ltd.
許認可	ISO9001 : 2015 取得

創業メンバー紹介



代表取締役
加藤 勇志郎

東京大学卒業後、マッキンゼー・アンド・カンパニーへ入社。同社シニアマネージャーとして、グローバルな領域で装置・機械、重工業、輸送機器等、多品種少量業界の大手メーカーに
対して、購買・調達改革を支援。
2017年11月にキャディ株式会社を創業



最高技術責任者
小橋 昭文

スタンフォード大学・大学院にて電子工学を専攻。ロッキード・マーティン米国本社で勤務し、衛星の大量画像データ処理システムを構築。その後、Apple米国本社にて、iPhone・Airpods等の製品開発や中国工場監査までをリード。2017年にキャディ株式会社を共同創業

トピック/メディア露出等

2021年8月 資金調達と急拡大

海外ファンド・
国内メガバンク等より
100億円超の資金調達

日本経済新聞

国内企業価値増加率
第1位

※2021年12月7日版

テレビ東京『ガイアの夜明け』ご紹介
【町工場 リボーン！～日本の“ものづくり”激変～】

※2021年10月8日放送

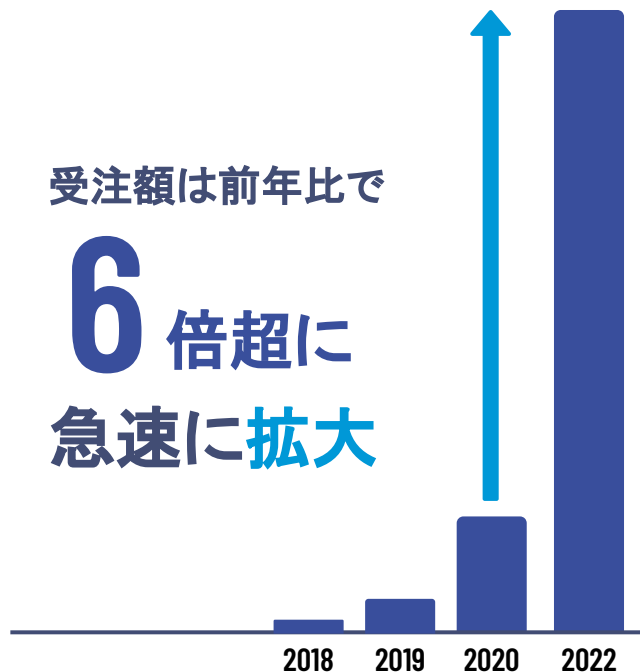


NewsPicks対談
東様(TEL元会長)
× 加藤(CADDi社長)
「日本の製造業が
グローバルイニシアチブを
とる方法」

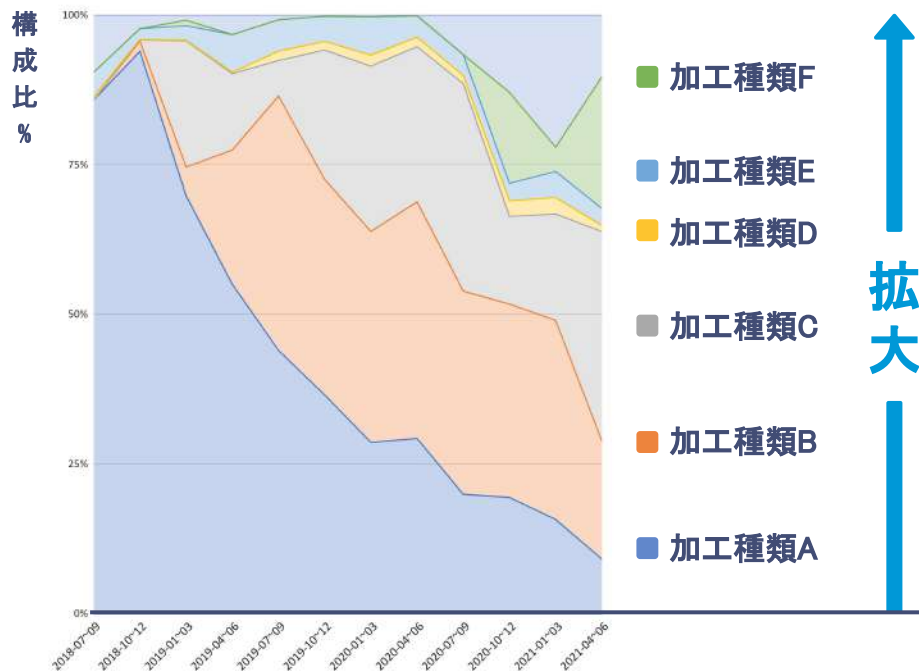
受発注プラットフォームの急激なグロース

受注額は前年比で

6 倍超に
急速に拡大



加工種類も着実に拡大し、より高付加価値を提供可能に

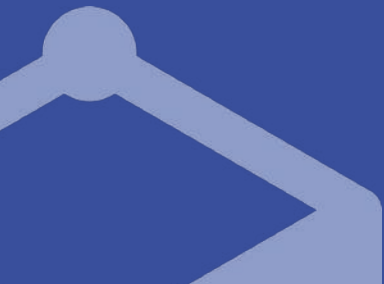


MISSION(経営理念)

モノづくり産業のポテンシャルを解放する

Unleash the potential of manufacturing

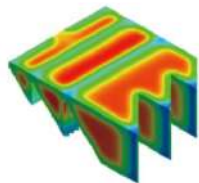
事業概要



100年以上イノベーションのない巨大な製造業調達市場

製造業の中で120兆円を占める調達市場においてのみ、大きな革新が未だない状況。

設計



CAD / CAE
などの活用

調達



イノベーション
特になし

120 兆円

製造



自動化・
ロボット化

販売

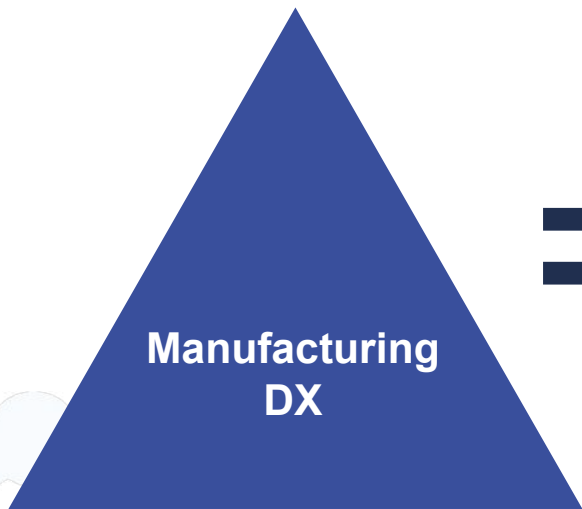


AI・ビッグデータ
の活用

日本国内での総生産額 **180** 兆円規模

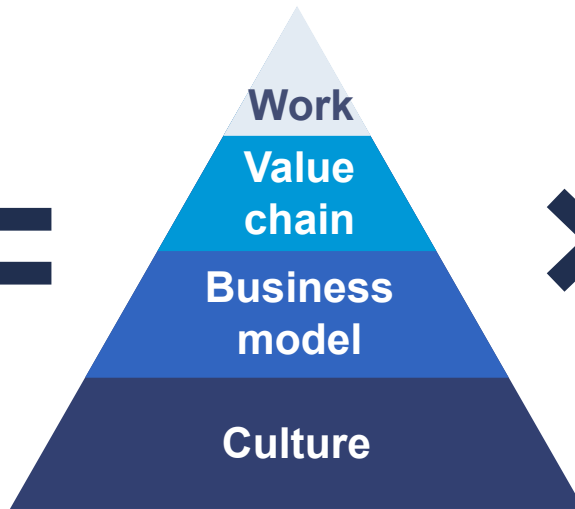
製造業DXの4x2(four by two)マトリクス

Manufacturing
DX



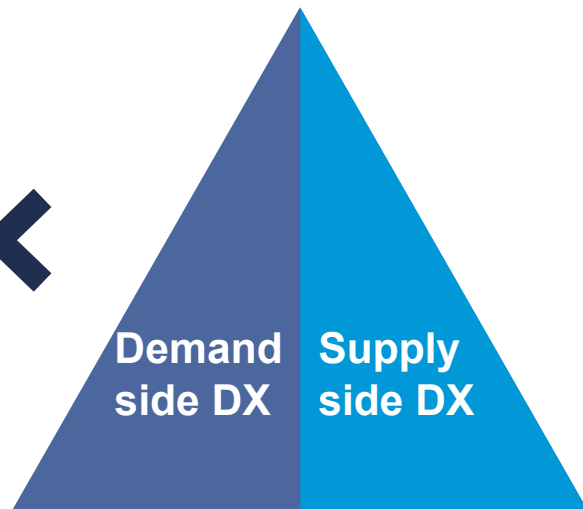
=

4 layers



×

2 sides



製造業DXの”2 sides”

需要サイドのDX

マーケット/顧客に関するDX。営業・マーケティングのデジタル化・自動化・最適化など

Demand
side DX

供給サイドのDX

サプライチェーン・エンジニアリングチェーンに関するDX。
設計・調達・製造に関するデジタル化・自動化・最適化など

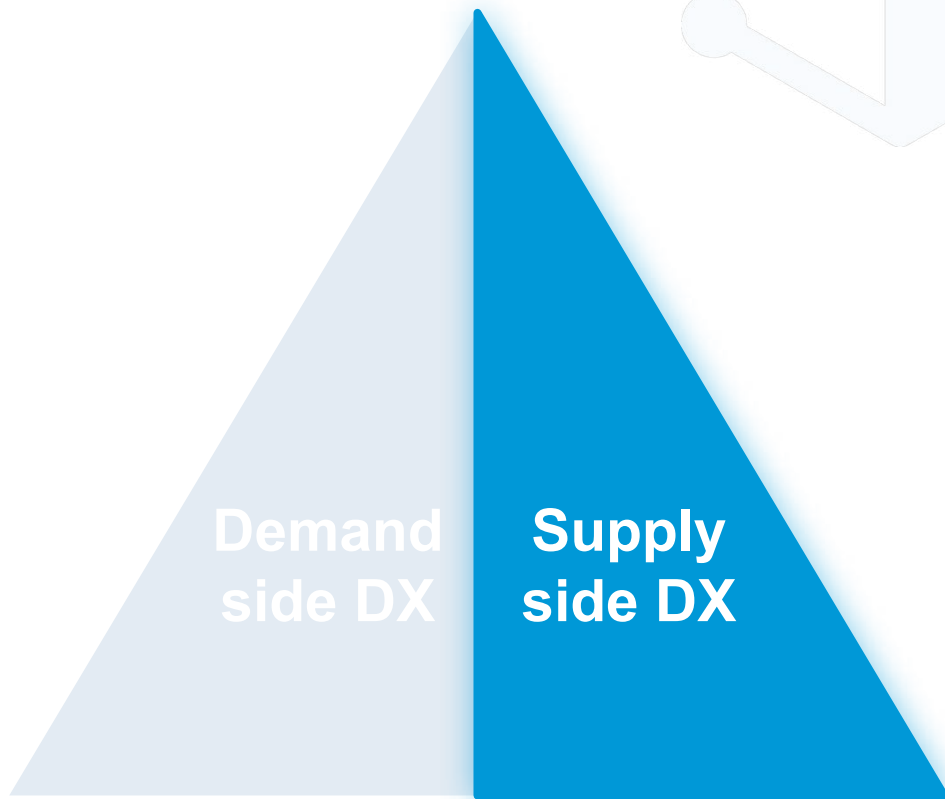
Supply
side DX

キャディ/CADDiとは

キャディ:

Supply side DX

を推進する企業



Supply side DXのための外部集約化・内部資産化

SCM/ECMのデジタル化・Intelligent化を通じた、 売上・利益の継続的/安定的な最大化



・QCD最適化・キャパシティ増大/安定化

..

売上

粗利

・業務効率化・合理化

.....

営利

・外部環境変化対応・アジリティ増

.....

継続性 / 安定性

外部集約化

水平分業的な特定機能の外部集約

- ・多数企業の機能集約でコスト削減/冗長化
- ・集中的資源投下による非連続的QCD変革

内部資産化

Intelligentなシステムの自社内活用

- ・社内情報/暗黙知の資産としての蓄積
- ・データ活用によるQCD最適化・業務効率化・意思決定の迅速化

キャディはモノ<>ソフトの両提供により相乗効果を実現



CADDi

モノ提供

外部集約化支援

- ・調達生産機能の外部集約化
- ・QCD担保・納品責任を負う
- ・自らIntelligentなサプライチェーンを構築・運用

ソフト提供

内部資産化支援

- ・最重要データの「図面」から資産化支援
- ・利用データに基づく価値の 継続向上

knowledge



technology

モノ事業による外部集約化支援



CADDi

モノ事業

加工部品の調達

- ・調達生産機能の外部集約化
- ・QCD担保・納品責任を負う
- ・生産キャパシティの確保
- ・調達担当者様の負荷軽減

knowledge



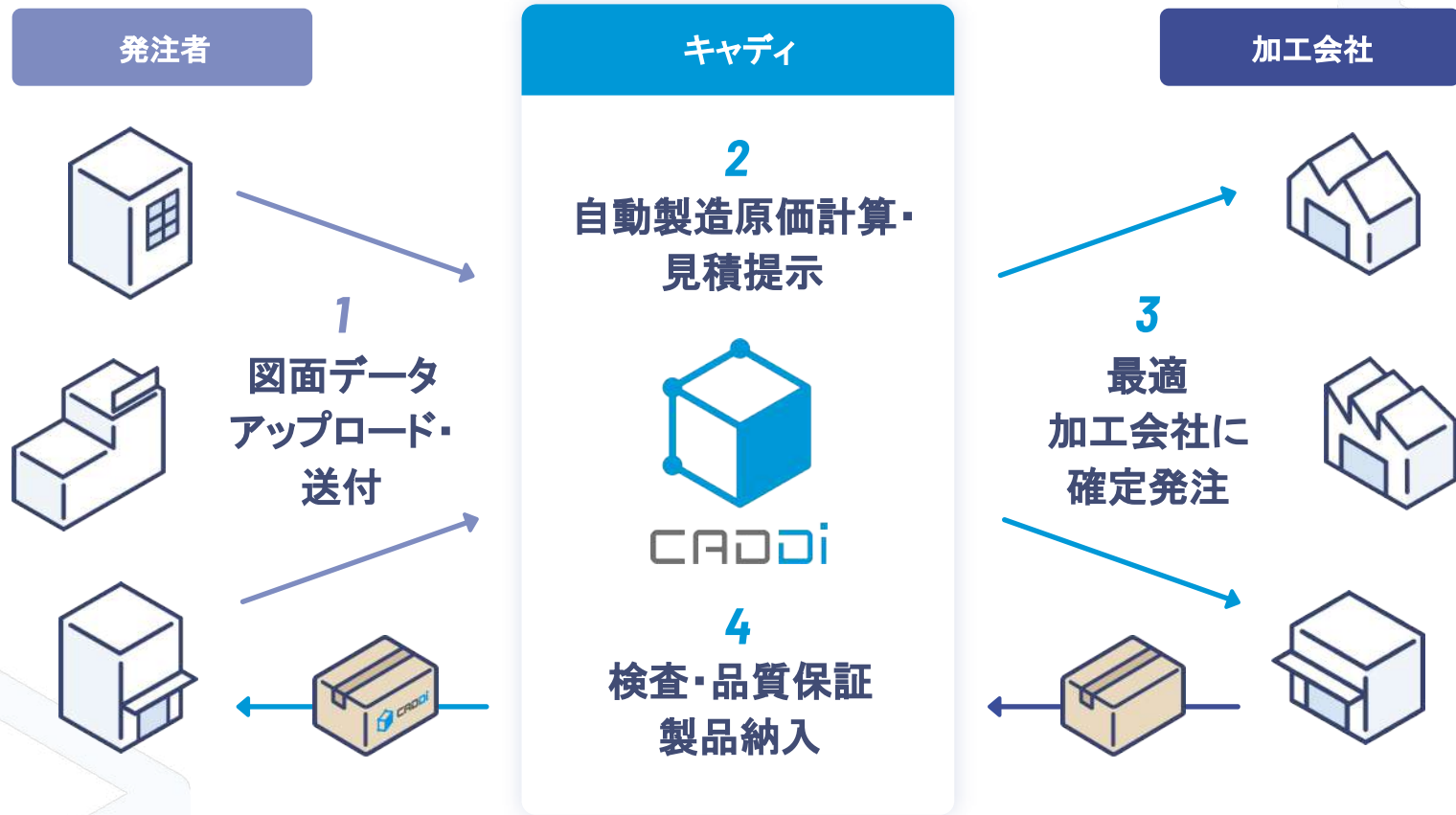
technology

ソフト事業

システムの導入

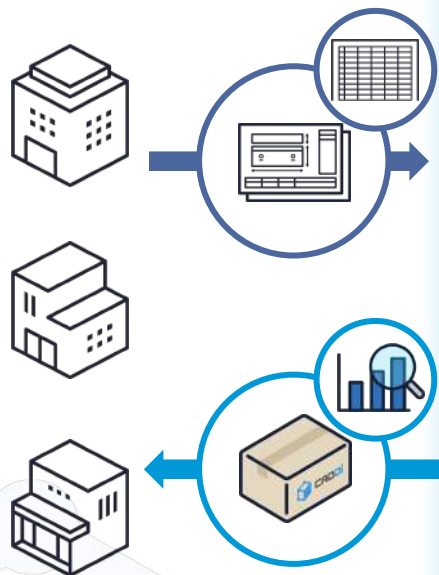
- ・最重要データの「図面」から資産化支援
- ・利用データに基づく価値の 継続向上

受発注プラットフォーム＝ファブレスメーカー



キャディ・バーチャルファクトリーの機能

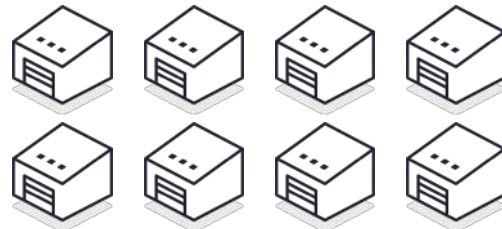
メーカー



キャディ バーチャルファクトリー



CADDi



Intelligence

図面解析	図面翻訳	原価計算	材料集中購買	得意領域 集中発注
最適発注	受発注管理	検査管理	工程設計 / 原価管理	生産 / 品質 標準化
サプライチェーン管理	在庫/物流管理		生産管理	ヒトモノカネ 支援

プロセスのデジタル化＋最適化

工場のデジタル化＋生産力強化

ソフト事業による内部資産化支援



CADDi

モノ事業

加工部品の調達

- ・調達生産機能の外部集約化
- ・QCD担保・納品責任を負う
- ・生産キャパシティの確保
- ・調達担当者様の負荷軽減

knowledge



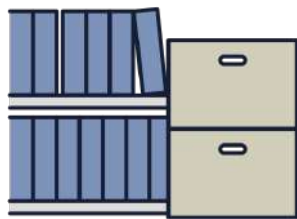
technology

ソフト事業

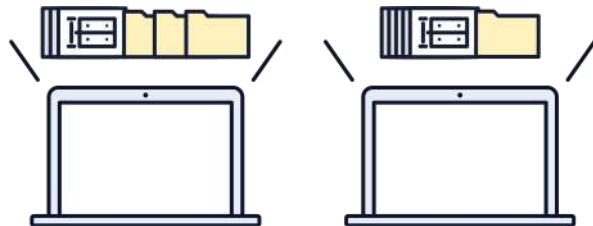
システムの導入

- ・最重要データの「図面」から資産化支援
- ・利用データに基づく価値の 継続向上

製造業「最重要データ」といわれる図面は、資産とほど遠い



10年以上前の図面が
紙で保管されている



各調達・設計者のローカルフォルダに保存。他の人が何を持っているかは知らない



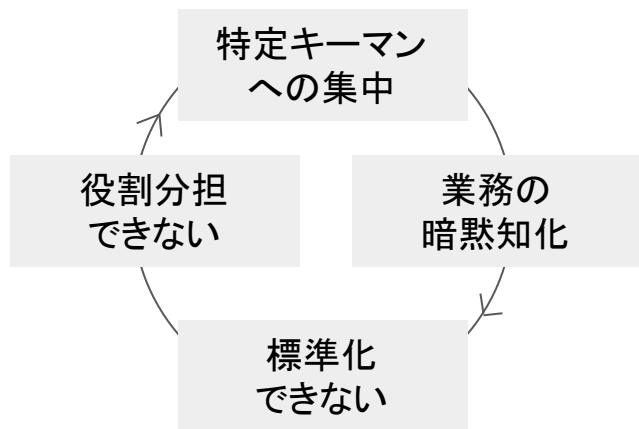
システムに保管されているが、1図面ずつしか引き出せない



部署問わずアクセスしたい過去図面に即座にアクセスできる、検索性が高い、形式知化されている、将来の設計・調達・製造・保守等に「価値を生む」
という状態からはほど遠く課題が山積

判断業務が属人的であることのリスクは今後増大

判断業務の属人化によるリスク

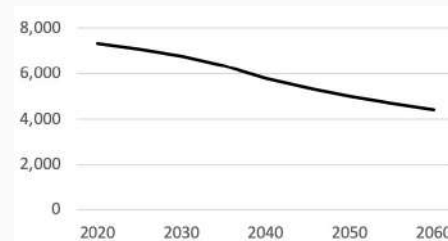


キーマンの離脱によって
組織パフォーマンスが低下

加速

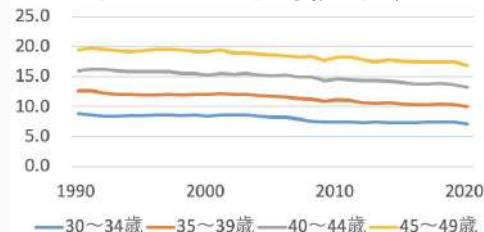
生産人口の減少

15～64歳人口の推移



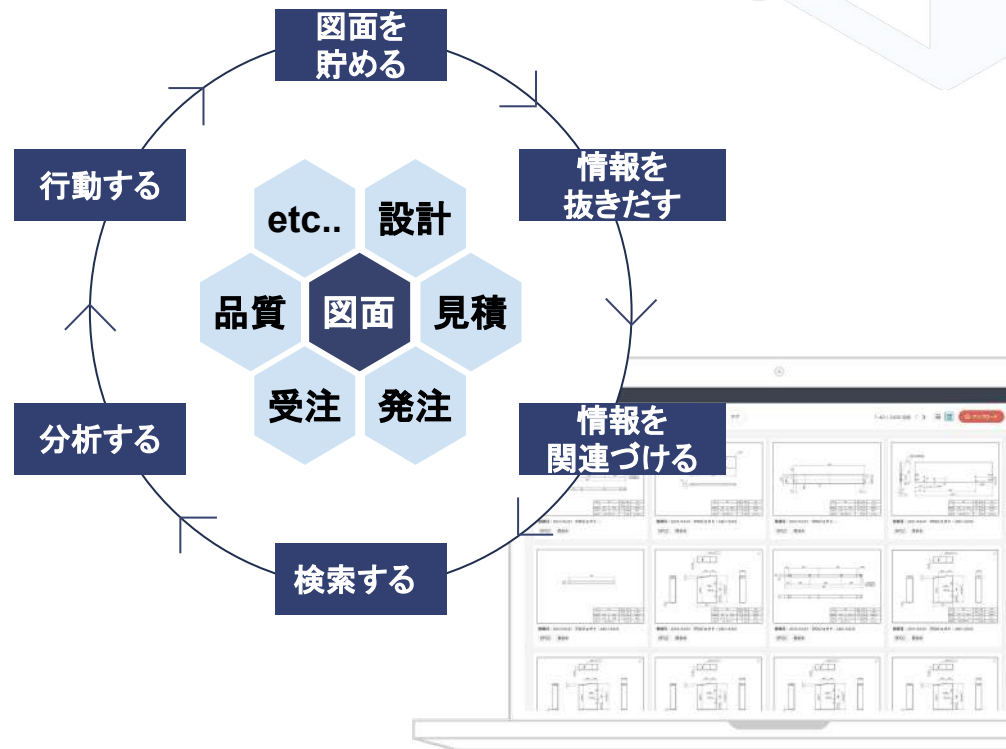
人材市場の流動化

年代別平均勤続年数



CADDi DRAWER

図面データをコアとした
ナレッジマネジメント
プラットフォーム



≠ 一般的な図面管理システム

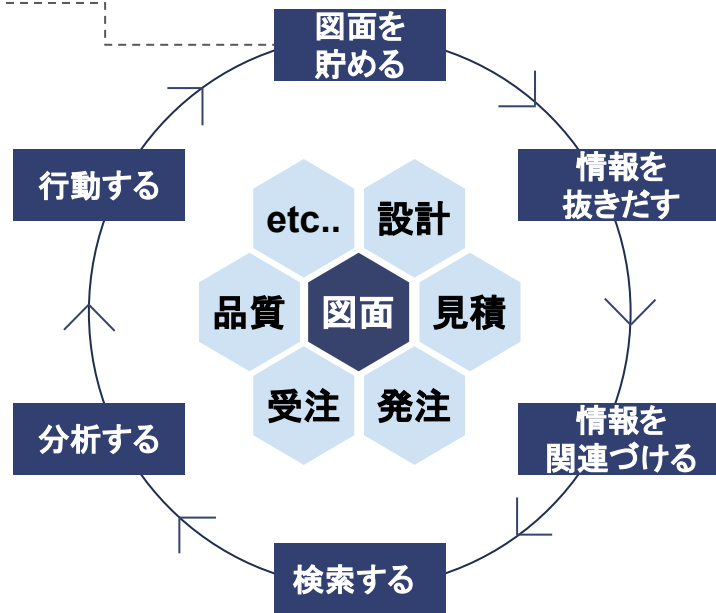
一般的な図面管理システムの対象範囲

目的

過去の図面データを
正しく保存する

主要機能

承認フロー
権限コントロール
バージョン管理
etc



CADDi DRAWER

目的

図面を中心とした
データ・ナレッジを
活用して未来に生かす

主要機能

図面解析
キーワード/類似検索
関連データの自動紐付
etc

図面領域でのソフトウェア提供で内部資産化を支援

モノの提供 で獲得したアセットを活用し…

Data

図面データ、
取引データ
加工工程・原価分解

Network & Transaction

顧客・加工会社基盤
ブランド

Technology & Operation

図面自動解析
類似性判断
原価計算

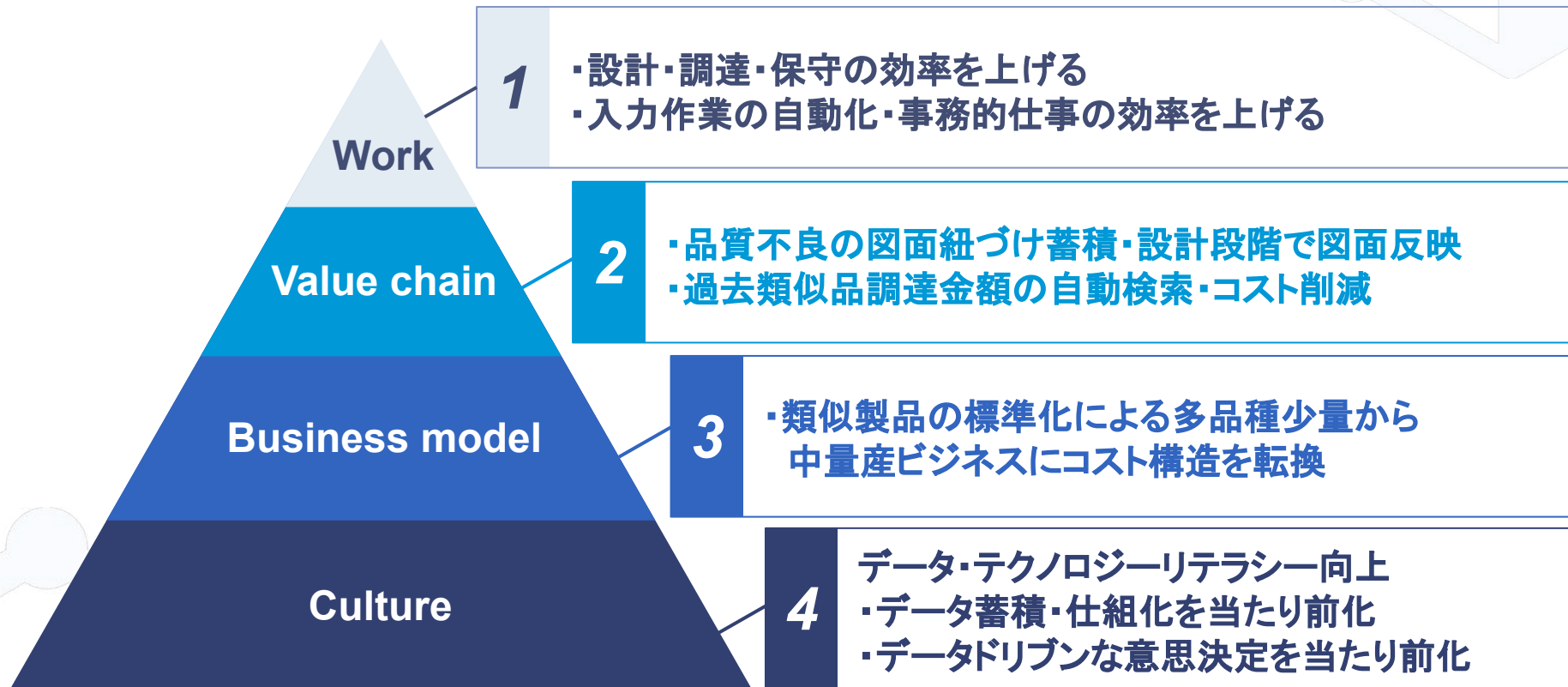
図面の自動解析・最適管理・運用を
支援する ソフトの提供



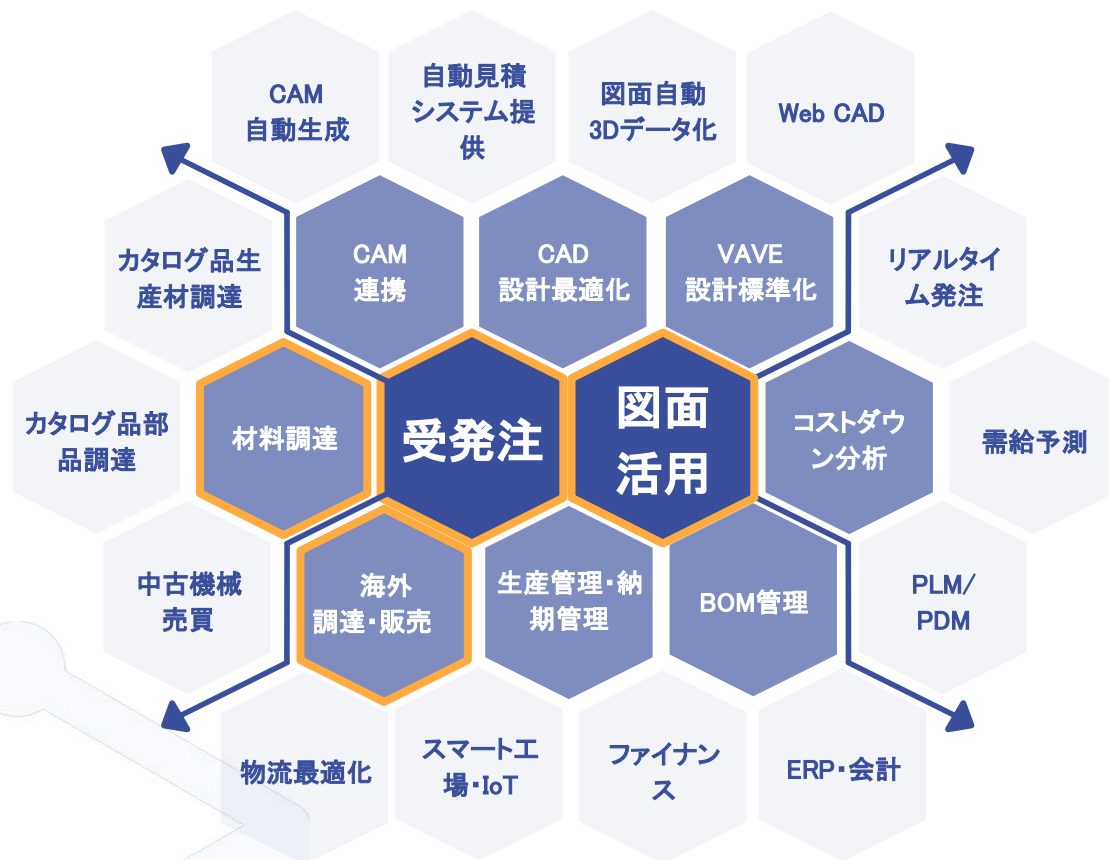
図面をIntelligentに管理して全方面に価値を生む



図面データ資産化・運用ソフトウェアを全社DXの起点に



サービス・アプリケーションの広がり



受発注プラットフォームと
図面データ活用クラウドで製造業の
モノとデータのスムーズな取引きを
支援。
周辺領域の課題を解決へ。

①受発注

規模の拡大とともに、サプライチェーン・オペレーション全体のDXを推進

②図面データ活用クラウド

過去の取引データをレバレッジし、バリューチェーン全般に付加価値を創出・強化できる構造へ

Vision 2030

顧客

1 グローバル1兆円の 受発注プラットフォームへ



規模の拡大とともに、サプライチェーン・
オペレーション全体のDXを推進

加工
会社

2

データをレバレッジした製造業ソリューション・プロバイダーへ

過去の取引データをレバレッジし、バリューチェーン
全般に付加価値を創出・強化できる構造へ



THANK YOU

